

2020~21年度
国際ロータリーのテーマ



ロータリーは機会の扉を開く



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2020~2021年度クラブテーマ
会長 熊本 誠司

「学び、理解し、楽しむロータリー」

本日の例会：2020年 10月 15日（木）通算 1574回 本年度 第13回
ガバナー公式訪問（東京南RC・東京麻布RC・東京赤坂RC合同例会）ホスト：東京南RC
卓話：RI2750地区ガバナー 福原 有一 氏

● 第1572回 例会報告／2020年 10月 9日

出席報告：会員 47名 28名（内 ZOOM 9名）
ゲスト：鍵本忠尚（卓話）、イミン
計2名（敬称略）

卓話：「病院船建造・運用の政策提言」
公益社団法人モバイル・ホスピタル・
インターナショナル理事 鍵本 忠尚 氏



ご紹介者：鈴木貞史氏



10月 9日 10件 14,000円 累計 279,000円
多額の寄付を有難うございました。（敬称略）

熊本誠司/入沢頼二/石井謙次/穂苅裕久/関陽一

会長報告：

米山奖学委員会より、吉田会員・岩上会員へ
米山功労賞の感謝状が届いております。



今 後 の 予 定	日付	開始時間 終了時間	場所	事項	内 容	
					休	会
	10月 16日			会	(10/15 ガバナー公式訪問へ振替)	
	10月 23日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：『アスリートデータベースによる現役 ～セカンドチャンスの支援』 株式会社 WorldTryout 代表取締役 CEO 加治佐 平 氏	
	10月 30日			休 会		
	11月 6日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	クラブ協議会	

架け橋を実現する米山学友としての歩み

東京赤坂ロータリークラブのみなさま、こんにちは。マレーシア・ペナン出身のウォン・ライヨンです。今月は米山月間でもありますから、今まで世界各地で累計 21,000 人以上の米山学友に奨学金を付与してよかったです、恩返しをしているかをこの 30 分の卓話で少しでも感じていただければ幸いです。

まず、簡単な自己紹介をさせていただきます。1972 年にマレーシア・ペナンの極普通の家庭で生まれ・育ちの私は、現在 48 歳でペナンで在住しながら、産学官・非営利団体 (N P O) など、マレーシア・日本でクロースセクターで、日本で学んだ経営学、保育士・キャリアコンサルタント両方の国家資格を活かし、両国の架け橋の活動をしています。横浜国立大学の博士課程に在籍していた時、2001 年-2004 年のロータリー米山記念奨学金（以下「財団」と表記）をいただき、世話クラブは横浜泉でした。この世話クラブ制度のおかげで、経営学博士号を取得できたといつても過言ではありません。なぜならば、毎月例会に出席したため、応援していただいたみなさんにガッカリさせてはいけないという気持ちは大きな原動力になりました。卒業後、日本で幼児教育・保育の現場・企画営業、サステナビリティコンサルタントを経て、2013 年初旬、16 年間の日本生活に終止符を打って、マレーシアに帰国しました。

現在の仕事の中で、責任の大きい日東電工株式会社の社外取締役として少し紹介させていただきます。株主総会招集通知の中で、社外取締役候補とした理由は、「アジア各地で人材育成や企業・教育機関に対する C S R 活動の助言をしており、2016 年には内閣府による「アジア・太平洋輝く女性」の 1 人に選出されています。加えて、慶應義塾大学大学院での MBA、横浜国立大学での博士号取得や、日本の保育関連会社での勤務など、日本における約 16 年間住を通じて、日本企業の経営についても造詣が深いところです。」

そのほか、日系企業のアジア各地にある子会社と日本本社向けの講演、研修講師もしております。今オンライン講演、研修も数多くしており、内容はアジアにおけるサステナビリティ事情です。また、顧問をしている日系企業の中、長田広告の社長もロータリアンであり、第二回世界学友会 in モンゴルの参加もご一緒でした。

教育についての活動は、マレーシア理科大学でサステナビリティを教えたり、日本の大学からのスタディツアーの講師もしています。また、大学院大学至善館の特任教授、付属のセンター・オフ・サステナビリティ&イノベーションの副センター長も務めています。また、進学に悩んでいる若者向けに、1 対 1 のキャリアコンサルティングも数多くしています。

また、政府機関の場合、ペナン女性発展局の役員として、女性活躍推進をしています。昨年、日本の F R a U 女性誌のサステナビリティ特集で、ペナン州の女性活躍推進、環境保護活動取材の架け橋もしていました。

NPO 活動については、2017 年にマレーシア当局に正式登録の「マレーシアロータリー米山学友会」(M R Y A) の創設会長になり、現在に至りました。活動以来、時間と出費はかなりかかりましたし、壁もないわけではないのですが、大いに成長をしてくれ、視野と輪も広げられました。タイミング的には、財団 50 周年記念誌に M R Y A に関する紹介も間に合いましたし、学友会の仲間が主催した「感謝 in 熊本」、財団主催の 50 周年記念式典にも参加できました。また、当初はまったく学友会の運営がわからなかったため、30 年以上の歴史を誇る台湾学友会の年次総会に参加し、当時の吳理事長よりたくさんのこと学ばせていただきました。また、去年モンゴルで開催した「第二回世界学友会」にも参加してきました。その他、関東のいくつかのロータリークラブで卓話をした経験があり、ロータリアンと学友たちの親睦を深めました。ロータリー精神を受け継いで、恵まれない子どもたちへのスクールバック寄贈、海岸清掃、学生へのマスク寄贈などの社会奉仕活動も会員たちと一緒にしていました。今年のクアラルンプールで M R Y A の第三次総会を開催し、貴ロータリークラブの熊本様遠い日本からご出席いただきました。来年の年次総会で会長として退任する予定ですので、今は後任育成にがんばっているところです。

本日は一人の米山学友としての卓話なので、東京赤坂ロータリークラブのみなさんが米山奨学金事業は本当によい事業であり、ご自身長年財団への寄付は意義があると少しでも感じていただければ幸いです。ご清聴ありがとうございます。